



酪農情報



第8号

発行日：平成18年8月25日

発行元：バイオ科学株式会社

☆酪農家紹介☆ 北海道山越郡八雲町 F牧場

- ・作業人数：2人
- ・頭数：搾乳牛32頭 育成・乾乳牛28頭
- ・乳量：約32kg/日/頭
- ・乳肝の使用期間：乾乳期～牛が必要とするまで。
- ・乳肝の給与量：上記期間50g/日・頭
- ・給与方法：サイレージの上にトップドレス。

～乳肝（ミルクン）使用の理由～

『乳肝（ミルクン）』を乾乳期から使用しています。その目的は「分娩後の立ち上がりをスムーズにすることとJMRの短縮」からです。北海道農業共済組合連合会や十勝農協連の試算によると、**受胎1日の遅れは1日1頭あたり1,200円～1,600円の損失**というデータがあり、発情周期の21日を考えると、**1回の発情を逃すことにより25,200円～33,600円の損失**に繋がってしまうためです。

また、『乳肝（ミルクン）』の給与については乾乳期以降は特に期間を定めていません。なぜなら、牛が必要なものは自分で採食するという考えを基に、牛の生理的な要求に任せているためです。そのため、特にストレスのかかる夏場には使用量も必然的に増えます。給与してからは、食い込みも良く、夏バテ防止に大変効果があると感じています。

～使用して実感した効果～

- ① 夏場の食い込みが良く、夏バテが少なくなった。
- ② ケトーシスの減少。
- ③ 乳成分の向上。
- ④ 卵胞膿腫が無くなった。
- ⑤ 繁殖成績の改善（JMR値の短縮）

※JMR値…受精対象牛の妊娠していない牛を対象として1頭平均の受胎の遅れを表す数値

～乳肝（ミルクン）使用のポイント～

『乳肝（ミルクン）』使用のポイントは食下量が落ちていないことです。**分娩前後、夏場に事故**が多い理由の1つとして、ストレスなどで牛の食下量が急激に落ち込み、肝機能が低下することにあります。

大事なことは、通期を通して牛がしっかりと食い込める健康的な体作りです。肝機能改善によるメリットは、必ず経営のプラスになると考えて『乳肝（ミルクン）』を使用しています。

～「乳肝」給与による繁殖成績向上～

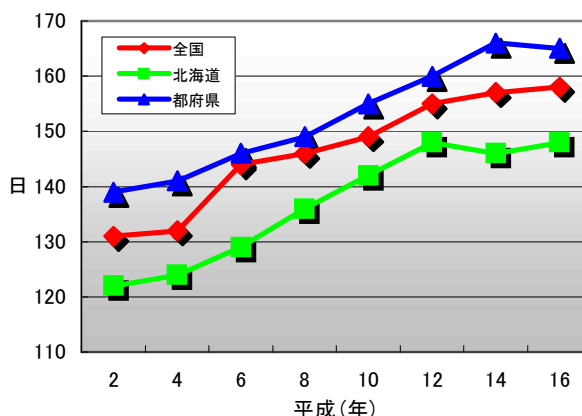
★分娩間隔の遅延について

→受胎が遅れると1日1頭あたり
1,200円の損失です。

暑熱時には空胎日数が遅延しやすく、
発情回帰の消滅・初期胚死滅など繁殖障害
として顕著に現れるといわれています。

繁殖障害は経営を圧迫する最大の暑熱被害
であるといわれているため、飼料・環境改善
が必要です。

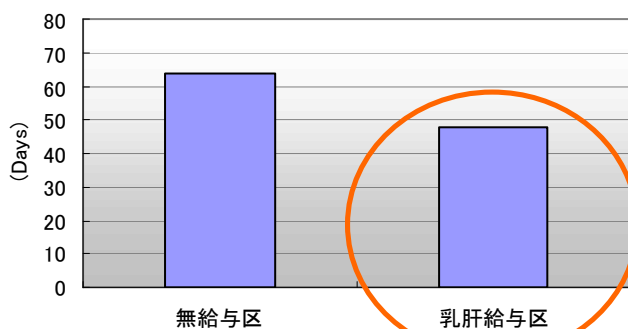
空胎日数の推移



(家畜改良事業団 年度別繁殖成績の推移より)

★バイパスサプリ「乳肝」は、初回黄体確認日数について有意に短縮していることが確認されています。

初回黄体確認日数



(帯広畜産大学での試験)

バイパスサプリ「乳肝」投与が繁殖成績に及ぼす効果を検討した結果、初回黄体確認日数すなわち卵巣の活動開始日数が有意に短縮されていました。これは、バイパスサプリ乳肝の投与により、負のエネルギーバランスが改善され、卵巣の活動開始が早まったものと考えられます。

『乳肝』給与で空胎日数が短縮！

⇒ 有効成分がバイパスしている証拠です。

平均バイパス率

80%以上

(自社試験による)

乳牛の個体能力の上昇に伴って、年々繁殖成績が悪化しています。

特に高泌乳牛は夏季の暑熱ストレス+産乳時の発熱により、発情兆候の微弱化⇒発情回帰の消滅などの繁殖障害が発生しやすく、経営を圧迫する最大の被害であるといわれています。

暑熱時は、飼養環境改善と同時にバイパスサプリ「乳肝プラスC」の給与をおすすめします。



バイオ科学株式会社

ホームページアドレス

<http://www.bioscience.co.jp/>

本社・工場 徳島県阿南市那賀川町工場地 246-1
 札幌営業所 北海道札幌市東区北 31 条東 16-2-3
 帯広営業所 北海道帯広市西 6 条南 6-3 ソビル 5F
 福島営業所 福島県伊達市舘ノ内 38-44
 関東営業所 栃木県宇都宮市御幸町 44-1
 阿北営業所 徳島県板野郡上板町七条字古町 54-1

TEL:0884-42-3090
 TEL:011-786-8399
 TEL:0155-25-0002
 TEL:024-584-2808
 TEL:028-663-1129
 TEL:088-694-6282